

単元名 (書写)身のまわりの文字文化の豊かさにふれ, 効果的に文字を書こう 配当時間 2時間

単元の目標 (1) これまでに身に付けてきた書写力を生かして, 「卒業」をテーマに, 語句や文, 表現形式を選んで, 卒業の記念制作に取り組むことができる。
(3) これまでの書写学習の成果を日常生活のさまざまな場面で生かそうとする。

標準的な展開例

12210306_001

【教材名】多様な表現による文字 三年間の学習の成果を生かそう (P. 94～P. 99)

【準備等】筆記用具(フェルトペン, サインペン, 毛筆等), 作品作りのための用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 身の回りで見かける, 文字のもつ表現効果について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りの文字について, 種類や目的, 印象, 工夫されている効果などについて話し合う。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★文字のもつ表現効果について考えよう。 ○手書き文字と活字について, それぞれの表現効果や印象について話し合い, 目的に応じた有効な活用, 用途を考える。 ○手書き文字と活字が社会の中でどのように使い分けられているか「記録性」「伝達性」「表現性」の観点から, それぞれの特徴について話し合う。 ○今日の文字環境に対応した, 文字の「記録性」「伝達性」「表現性」を考慮した効果的な表現の活用について理解する。 <p>2 三年間の学習を生かして, メッセージカードを書いて伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○卒業にあたり感謝の気持ちや抱負などを, メッセージカードで伝えることを理解する。 ○本時の学習課題をつかむ。 ★三年間の学習を生かして, メッセージカードを書いて伝えよう。 ○メッセージカードの仕上りをイメージしながら, 文字やメッセージを考え, 決定する。 ○ペーパーフレームを作成し, メッセージを伝えるのにふさわしい書体, 文字の大きさ, 配列, 色彩などを考え, 決定する。 ○メッセージカードを試し書きをする。 ○全体の構成や表現効果を確認し, 必要な修正を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書(p. 94～p. 95)をもとに身の回りの文字について想起し, どのような種類, 目的, 印象の文字があるかを話し合い, 発表するよう指示する。 ・教科書資料の他, 地域調べなどの課題として文字素材の収集を事前に指示し, 提出したものをデータ化して準備しておいてもよい。 ・手書き文字に限定せず, 活字・印刷文字も含め, 広く学習対象とする。 ・取材レポートを基に, 目的(用途・印象)に応じた効果について考えるように促す。教科書(p. 94～p. 97)の資料も活用する。 ・文字に関する用語について整理しておく。「字体」「字形」「書体(手書き文字・活字)」「フォント」「書風」など。 【評】日常生活・社会生活の中の文字環境について話し合う活動を通して, 「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・社会の中で効果的に文字が活用されている現状を理解し, 日常生活の中で, 文字を書く際や情報機器での文字の使用, 選択などの際に生かせるような知識となるようにしたい。 ・教科書(p. 94～p. 97)を総括し, 文字の「記録性」「伝達性」「表現性」, それによる多様な効果, 表現の活用, 今日の文字環境, 文字文化について広く理解できるようにする。 ・発展として, 教科書(p. 96～p. 97)に示した「都道府県の城・城跡」を活用し, 郷土の文字文化への興味・関心を高めるとともに, 全国の文化財について調べてまとめる学習も計画したい。 【評】身の回りで見かける文字の表現効果について考える活動を通して, 「思考・判断・表現」を評価する。 ・教科書(p. 98)を参照し, 読み手を意識した言語活動であることや, 文字やメッセージ, ペーパーフレームの大きさや色彩なども含め, 総合的に捉えた表現であることを確認する。 ・文字やメッセージは事前に準備しておくように指示しておいてもよい。 ・感謝の気持ちや抱負などを伝える上での表現効果について, 意識して書くように伝える。 ・ペーパーフレームは事前に大きさを決定し, 色を選択できるように準備する。 ・フレームの作成に時間がかからないようにする。 ・メッセージは毛筆, フェルトペン, サインペンなどを用い, 必要に応じて行書で正しく書くように指示する。 ・筆記具の種類や色を工夫したり, イラストを入れたりして, 表現の工夫をする。 ・試し書きや自己批評(確認・修正)の機会を確保したい。

○まとめ書きをし、表現・効果の工夫などを発表する。

- ・読み手を意識し、適切な表現・効果を考えてまとめ書きをする。
 - ・個性を生かした表現の内容や、方法を踏まえて、その工夫について説明できるようにしたい。
 - ・相互に表現の内容や方法の多様性、それらによる個性を認識し、学習成果を日常生活や社会生活で生かせるようにしたい。
- 【評】三年間の学習を生かして、メッセージカードを書いて伝える活動を通して、「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】

文字の「記録性」「伝達性」と「表現性」のバランスを調整することで、様々な場面・目的に応じた効果的な書き方の工夫が可能となる。これまでの書写での学習を振り返るとともに、日常生活の中での文字の在り方について考えさせることによって、文字の可能性に気づき、自ら生かしていくようにさせたい。

そして、これまでに学習した書写の技法を、日常の書写活動に進んで生かしていくようにさせる。また、相互評価や互いの作品を鑑賞すること、文字の効果的な使い方についての話し合いを学習活動の中に取り入れていけるとよい。

書式の教室 教科書(p. 100～p. 107) (適時)

書式テストで確認 教科書(p. 108～p. 109) (適時)